



第 26 号

～ サレジオ会宣教ニュース ～

2011 年 2 月 11 日

聖カリスト・カラヴァリオのように“モバイル”ですか？

親愛なるサレジオの宣教師、サレジオ・ミッションの友人の皆さん、

た。そのために何千キロも旅をしました（ピエモンテ - 上海 - 香港 - 広東 - 東チモールのディリ - 従韶 Shiu Chow [サレジオ

で身につけなければなりませんでした。すべて宣教のために！しかし、その苦労については手紙で一言もこぼしていません！

人々の移動（モバイル性）が盛んなのは、私たちの時代のしるしです。多くの人々が政治・社会・経済的な理由によって移動しています。2011 年 1 月の初め、私はトリノに近いクールニェを訪れました。わが会の聖なる宣教師カリスト・カラヴァリオの生まれ故郷です。カラヴァリオ神父が母親にあてた手紙は私たちの手元にあります

(www.sdb.org, ed. LAS Roma, 2000)。その生涯の短さに私たちは心を打たれます。たった 27 歳でした。カ

ラヴァリオ神父は、また別の理由のために“モバイル”な人生でした。青年カリストは、常に宣教の使命に心を開いていまし

会に委託された代牧区]。彼は多くの言語（英語、広東語、上海語、ポルトガル語）を数ヶ月

私たちの聖なる殉教者、宣教師ルイジ・ヴェルシリア司教とカリスト・カラヴァリオ神父に祈りましょう。私たちサレジオ会員が宣教のために、二人と同じ“モバイル性”=臨機応変な起動力を持つことができますように。具体的な話になりますが、現在、第 142 回宣教派遣（2011 年 9 月 25 日）の候補者として申し出が確認されたのは、9 名だけです。モバイルであろうとする私たちの姿勢は、イエス・キリストに根ざしているかどうかにかかっています！



Václav Klement
Fr. Václav Klement, SDB

Da Mihi Animas……血を流すまで



教皇ベネディクト十六世は先ごろ指摘しました。「この世界は、いまだに暴力が蔓延しています。特にキリストの弟子たちに対する暴力です」（2010 年 12 月 26 日）。事実、2010 年には、司教 1 名、司祭 15 名、修道士 1 名（ルイス・エンリケ・ピネダ修士 SDB）、修道女 1 名、神学生 2 名、信徒司牧協働者 3 名が殺されています。この兄弟姉妹たちは、いのちを捧げました。それはほとんどの場合、日常の仕事の沈黙と謙遜のうちに捧げられました。「…信仰をあかしするために彼らの命をささげたのであり、……罪と死に打ち勝ち、人類を神と和解させたイエス・キリストを、すべての人が必要としていると固く信じているのです」（ヨハネ・パウロ二世回勅『救い主の使命』11）。オスカル・ロメロ大司教の命日に当たる 3 月 24 日は、2010 年にいのちを落とした宣教師・司牧者のための祈りと断食の日です。若者や共同体の中の意識を高めるような具体的な行動を提案し、この人々を思い起こすようにしましょう。

1983 年、サレジオ会殉教者の初穂である二人の列福に当たり、ヴィガノ神父は書簡を出しています。その書簡でヴィガノ神父は、あらゆる修徳・苦行には、血を流さないながらもキリストの受難にあずかることのうちに、独自の奉献・自己贈与の形があるということを強調しています。この固有の形は、ドン・ボスコの精神のうちに、私たちの da mihi animas の光に照らして確認され、その究極の結果、すなわち他者のためにいのちを捧げる愛といけにえの殉教に至る道のりを、一步一步確実に生きるものです。

ヴィガノ神父は指摘しています。「私たちの二人の殉教者が苦しみ、血を流したことを特徴づけるのは、この同じ『他者のための使徒的愛』です。二人は、キリストの使徒として積極的に生きたために殺されました。特に、3 人の若い中国人女性の間としての尊厳と徳を守ろうとして殺されたのでした。この典型的なサレジオ会精神によって、ヴェルシリア司教とカラヴァリオ神父は、苦しみ、血を流す至高の力を得たのです。実に、ヴェルシリア司教は、自らのサレジオ会員としての宣教の召命の完成を、ドン・ボスコの預言的な夢によって予見したことを、私たちは知っています。彼はサンテ・ガレッリ神父に言っています。『われらの創立者の見たカリスを、あなたは私に下さるのですね。それを血で満たさねばならないのは、私です』！」（「ドン・ボスコの使徒的精神における殉教と苦しみ」ACS 308）

主の愛への私の答え



ローマで1か月間、宣教生活のための集中的な養成を受けた後、私はブラジルのサレジオ会レシフェ管区に宣教師として派遣されました。ローマの「新宣教師のためのオリエンテーション・コース」は、内的生活のための力と、宣教生活に伴うさまざまな状況に対処する心構えを与えてくれました。

宣教の情熱と熱意に力づけられ、私はまもなく管区の会員や事業に慣れ親しむことができました。こうして、折々に、会員や若者たちと共にいることは私にとって割合に楽なことでしたが、言葉の壁のため、一言も話せませんでした。宣教体験の初めのころは、ポルトガル語が私にとつ

ての試練でした。ブラジルに来たとき、私はポルトガル語で簡単なことも言えない程度でた一方、周りの人たちはポルトガル語しか話せず、私が少なくとも理解できるイタリア語はほとんどできませんでした。皆の中で、私は生まれたばかりの赤ん坊のように感じました。

この状況は、修道召命、宣教召命の観点から、私に弱さを与えました。落ち着いた心で信仰のうちに、自分が修道生活、宣教生活に献身することを選んだ第一の動機を思い起こすことの大切さを感じたのは、このころでした。新しい環境に入るこの最初の段階で、私の共同体の院長は私に同伴してくれました。また、インドで宣教師として働いていたサレジオ会員も助けてくれました。彼の助けは大きかったです。私の修道召命、宣教師としての召命は、私にとってはただ、あふれるほどに注いでくださる主の限りない愛への応答なのです。感謝の表現、全面的自己贈与の望みです。聖パウロの言葉を私も語りたくなるのです。「福音を告げないなら、私は不幸です」(1コリント9・16)。

人の心を知っておられる神だけが、私たちの思いがとらえきれない理由をご存知でしょう。神はアブラハムに言われました。「あなたは生まれ故郷 父の家を離れて わたしが示す地に行きなさい」(創世記12・1)。この言葉は、私をとて力づけてくれます。今、私はサレジオ会の兄弟たちと共に、教育・職業訓練の分野でドン・ボスコの事業に貢献し、活動を続けるために働く用意ができています。東北ブラジルの若者たちのより明るい、安らかな未来を開くために。

コンゴ出身、在ブラジル宣教師 マキシミリアノ・コルベ修道士 SDB

アフリカの皆さん、あなたがたは全世界に遣わされる宣教師です！

「アフリカの教会は、アフリカ大陸でキリストをあかしするように呼ばれているだけではありません。……「アフリカの皆さん、あなたがたは、あなたがた自身の同朋への宣教師です」というパウロ六世の預言的な言葉は、「全世界に遣わされる宣教師」として理解されなければなりません。……アフリカの諸教会は、教区の枠を超えて宣教するよう呼びかけられています。」

(ヨハネ・パウロ二世、「アフリカにおける教会」128、129)



中東のための宣教師募集

国 - 管区	言語	環境、要件
トルコ、イラン - MOR	トルコ語 ペルシャ語	イスラム社会、多宗教、生活のあかし、管区の若返りとしっかりとした召命を求む。
モロッコ - FRA	フランス語 アラビア語	イスラム社会、教育事業、あかしと奉仕の使命、表立った宣教活動はできない(会則22)
チュニジア - IRL	フランス語 アラビア語	イスラム社会、教育事業、あかしと奉仕の使命、表立った宣教活動はできない(会則22)



Salesian Missionary Intention

アフリカ地域のために

アフリカの若いキリスト者たちが、婚姻の秘跡のために良い準備をすることができますように。特に、ZMB 準管区:ザンビア、ナミビア、マラウィ、ジンバブエのサレジオの環境において。

アフリカ・シドスは次のように述べました。《ひとつの制度として、家庭は神に起源をもつものです。家庭は「いのちの聖所」、社会と教会の「核」です。ゆるし、平和、和解、調和と一致などを学び、実践するのにふさわしい場です》(勧告51)。実際に、サレジオの修道召命への取り組みと共に、アフリカで緊急に必要なとされるのは、若者の召命司牧において、若者のための婚姻の秘跡の準備を強化することによって、家庭・結婚の司牧に力を注ぐことです。エイズの影響を最も深刻に受けている国々の中に、ZMB 準管区に所属する国々があります(ザンビア、マラウィ、ジンバブエ、ナミビア)。



ご意見は segrgia@donbosco.jp まで